

綱 領

1. 吾々は、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2. 吾々は、常に暴力と独裁を排し自由にしての健全なる発展を期す。
3. 吾々は、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。



平成2年
3月15日
発行
第128号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区浜松町2-2-14
KIビル802
TEL (03) 433-3028
発行責任者
市川清美

第29回定期全国大会を開催

山形県天童市「天童ホテル」・平成2年2月25～27日



熱心な討議がおこなわれた第29回定期全国大会

平成二年度運動方針を決定 賃上げ要求など確認し、新役員選出

山形県屈指の天童温泉「天童ホテル」において、全国の加盟単組より代議員、オブザーバー及び本部役員、顧問等、百余名の参加の下に、三日間にわたる日本赤十字新労働組合連合会第二十九回定期全国大会が盛大に挙行された。

二十五日は、開会宣言の後、恒例により日赤新労働歌が力強く斉唱され、議長に川島環氏（鳥取日赤）、副議長に白垣武文氏（福岡県支部）、書記に西村和典氏（大津日赤）の三氏が選出された。続いて園部中央執行委員長挨拶の後、来賓として出席された地元山形血液センター事務部長・佐藤民一氏より祝辞をいただき、大会に華を添えた。引き続き多数の祝電披露の後報告へと移った。

七日の最終日は中原真理子氏を行なった。山形県支部職員組合結成（鳥取日赤）の大会宣言（別掲）に続き、労働歌「がんばろう新労働」を合奏し、新中央執行委員長の高松日赤従業員組合結成Ⅱの報告、新労働加盟（教宣部）の報告、単組新人役員研修会及び幹部研修会の内容について報告された。

☆ 報 告

各部報告は組織・教宣・調査・婦人部の順に本部担当役員によって報告された。

（組織部）
十施設ほど内部強化とオルグされた。

（調査部）
調査結果について報告がなされた。内容について一部追加があった。

（婦人部）
婦人部代表者会議の報告がなされた。

以上報告の後、承認された。続いて一般経過報告に入り、その中で①年末一時金について、現在行部に入り、以来現在まで執行委員、副委員長、組合長等を経て、その間本部役員として昭和四十五年より五十一年まで至らなりました。

☆ 審 議

一、平成二年度運動方針案について
活発に審議され一部誤植等の訂正を行い、原案と可決された。

二、平成二年度予算案について
質問等が相次いだ。要望を認め原案と可決された。

三、平成二年度要求書案について
重要項目であるベアは、川出執行委員より提案理由説明がなされ、要求基準として二案が提示され審議の結果、①定昇（二・八〇）込み八・〇〇、金額に典について追加して可決された。

四、平成二年度闘争方針案について
原案と可決された。

☆ 役員改選

顧問に宮野政夫（新潟血液）、相談役に高橋利行（福島日赤）、同・松本晃（鳥取日赤）、同・園部順（茨城血セ）（岡山日赤）、中央副執行委員の各氏を委嘱した。

長・森裕子（名日赤）、同・



中央執行委員長 就任の「あいさつ」

岡山日赤 青山 圭一

平成二年度・第二十九回定期全国大会に於いて、新執行部八名が全代議員の信任のもとに決定され、私自身、中央執行委員長をお引き受けることになりました。

私の組合経歴を申し上げますと、昭和四十一年より単組執行委員長として現在まで至らなりました。

一年度までの七年間を執行委員、書記長、副執行委員長としてお世話させて頂き、そして新連合の誕生による初めての春闘の時期を迎え、これからの組合活動も新しい時代に



大会宣言を朗読する 中原真理子さん

第29回定期全国大会「大会宣言」

新労は遠かな歴史と文化鮮やかな四季に包まれる天童市「天童ホテル」において第二十九回定期全国大会を盛大に開き、とりと潤いのある生活を実現した。

我われは平成二年度方針として「実質賃金を獲得し、ゆとりと潤いのある生活を実現」を掲げ、この活動と成果を礎に、日赤新労としての力を高めつつ強力に前進していくことを誓います。

右天童大会宣言とする。
平成二年二月二十七日
鳥取赤十字病院
中原真理子

第29回定期全国大会 大会スローガン

- ◎ 実質賃金を獲得し、ゆとりと潤いのある生活を実現しよう
- ◎ 労働条件を改善し、働きやすい環境をつくろう
- ◎ 組織の拡大強化により強力な運動を展開しよう
- ◎ 教宣活動を活性化し、さらに連帯を強めよう
- ◎ 婦人部活動の充実と、調和のとれた職場を築こう
- ◎ 信頼される医療で地域に貢献しよう

平成2年度執行部です

よろしくお願ひいたします

中央執行委員長

青山 圭一

(岡山日赤)

中央副執行委員長

森 裕子

(名二日赤)

中央副執行委員長

藤村 貴順

(盛岡日赤)

中央書記長

市川 清美

(浜松日赤)

中央会計

川崎 隆彦

(茨城血セ)

中央執行委員

川出 富治

(元・名二日赤)

中央執行委員

窪岡 博

(千葉血セ)

ともい指導ご支援の程宜しくお願ひ申し上げます。

(茨城血セ職組・岸喜一)



中央執行委員

笠原 広子

(名二日赤)

会計監査委員

大向 広治

(八戸日赤)

会計監査委員

樹下 成徳

(大津日赤)

顧問

宮野 政夫

(新潟血セ)

相談役

高橋 利行

(福島日赤)

相談役

松本 晃

(鳥取日赤)

相談役

園部 順

(茨城血セ)

中央執行委員 笠原広子さん



中央執行委員 樹下茂徳

事務部の調度課・施設課・そして庶務課を渡り歩き、また病院組織のすみずみまで知り尽くした、なかなかの優れ者です。

退任のご挨拶

前中央執行委員長 園部 順

今般、第29回定期全国大会を期に、執行部を退任させて頂くことになりました。顧みますと、昭和六十年にご推挙を頂き執行委員一年、書記長三年、委員長を一年と、思えば長いようで短い五年間でありました。

特に最後の一年は多事多難でありましたが、全国の皆様のご支援を頂きなんとかその大任を果たすことが出来ました。ここに紙上をお借りし全国の皆様にお礼申し上げます。

この一年間で特に感じたことで、私個人の所感ではありますが、今後の本部体制には是非とも専従者を選任すべき時期が来ていると思われま。

歴代本部役員の名前を見ましても、いずれも職場では中堅職員であり職務と組合業務(特に委員長、書記長)を十分に両立させることは物理的に不可能となつて来たり、これからの長い将来に不安を感じざるを得ません。

本来、組合がその機能を十分に發揮するためには、優れた人材と、その人材がフレキシブルに活動できる環境が必要不可欠であります。多くのものを得るにはそれなりの支出は必要を得ないのではないのでしょうか。安くて小さな体制か、高いが強力な体制か、そのいずれかを選択しなければならぬ時は目前に迫っております。

山形県血液センター所長代理 佐藤民一氏



山形県支部事務局長代理 沼澤 廣氏



新役員のプロファイル

中央会計 川崎隆彦さん

今回の第二十九回定期全国大会において、当単組書記長の川崎隆彦さんに、大役の重責を委ね、中央執行部会

川崎は組合加入以来、熱心かつ積極的に組合活動を行い、ハイテクを持って事に当たる人です。人柄は温厚で責任感も

強い要請があり一期の約束で引き受けた。今年まで四期という長期に亘り、職務を遂げ、大変な責任を担って来た。出来、大変な責任を担って来た。

歳時記

花曇 (はなぐもり)

春には全大がうす曇でおおわれることがよくあります。関東以西の太平洋側の地方では、桜の花の咲くころにこういう現象がよくみられるので、この曇りが花曇といわれます。

また春になると日差しが増して、局所的な高低気圧を生じ、局所ごとに曇天となることもあります。

潮干狩りが「磯遊び」にもとづいているように、花見は「山遊び」に由来しています。

「野遊や夕餉(ゆうげ)は連れの友の家」(花曇)